北海道帯広三条高等学校　学校通信　第58号

樹蔭静けく

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501

発行日　令和６年10月31日

見学旅行で感じたことを行動に変えていこう！

高校生活の最大の行事といえば「見学旅行」という人が多いと思います。そのみんなが楽しみにしている行事が、1週間前の天気予報では京都も大阪も雨。少し残念な気持ちになっていましたが、当日に近づくにつれ雨予報がなくなり、初日以外のＵＳＪ、京都自主研修ともに良い天気で終えることができ本当に良かったと思っています。

見学旅行記を読むと旅行を楽しめたことが伝わってきましたが、楽しかった、充実した旅行になったことに加え、感謝の気持ちやこれから切り替えて勉強を頑張ると多くの人が書いていたことに感動しました。他にも…「計画がずれてしまっても時間を合わせるなどの適応力を身につけることができた。」「楽しい中でもたくさんのことを学ぶことができたので、体験で終わらせるのではなく、経験にして今後に活かせるように頑張ります。」「これは間違いなく自分の将来の糧になったと思います。困ったときに人に聞くことや、事前にじっくり調べておくことの重要性を再確認しました。」「何にしても計画を立てることは大事だと思いました。また、わからないことはすぐに調べたりして、解決しようとすることも大切だと思いました。」「この見学旅行を作ってくれた、先生方や旅行会社の方々、ホテルの方や保護者、そして仲間に本当に感謝です。」など多くの前向きなコメントに嬉しくなりました。

その「思い」を2年次みんなで「行動」にしていきましょう！

２年次主任　山　室　浩　二

大樹町で時代の最先端にふれる
～ 高P連十勝支部研修会 in 大樹

今年度の十勝支部PTA研修は午前はバイオガスプラント、午後は大樹町宇宙交流センターSORAを訪問しました。

まず訪れたのがサンエイ牧場。将来酪農家として働きたいと夢を持つ方が新規参入しやすい環境を作るため、町内３戸の酪農家が集まり1994年に設立した牧場ですが、家畜の糞尿臭対策にもなるということでバイオガスプラント建設に踏み切ったということです。今２機目を建築し、循環型大規模農業の実現を目指しているとのことでした。

午後はSORAで大樹町の「北海道に、宇宙版シリコンバレーをつくる」というビジョンの説明を受け、展示を見学。最後に新しく整備された滑走路を見学して終了しました。来年度は士幌高校の担当です。

祝 合唱部、金賞受賞

全日本合唱コンクール全国大会が26日、さいたま市ソニックシティ大ホールで開かれ、A部門に出場した本校合唱部は金賞及び特別賞（指揮者賞・全日本合唱連盟理事長賞）を受賞しました。

部長である佐々木万栞さんは「目標としていた全国優勝はかないませんでしたが、今の自分たちにできる最高の演奏ができて金賞を頂いたことを嬉しく思います。今まで支えてくださった豊田端吾先生、森先生をはじめ保護者の皆さんに感謝したいです」と話してくれました。

３年次生はこれで引退となります。これから自らの進路に向けて切り替えていくことになります。合唱で培った集中力で頑張ってください。

三条プリズム

今回は１年４組担任の豊田拓教諭を紹介します。三条高校出身の豊田拓教諭に日本史の面白さなどを聞いてみました。

第40回　１年４組担任　豊田　拓 教諭

本物に触れてこそわかることがある！

◇日本史の授業で

私は期限付き教諭を経て札幌拓北高校に赴任したのですが、生徒たちから私の日本史の授業について「わかりやすいけれど、つまらない」と言われてしまいました。そこから一念発起して授業スタイルを変えました。できるだけエピソードを拾って、生徒に考えさせていくようにしたのです。それは今でも続いています。諸説ある中で、生徒にとって一番面白みがあるものを紹介し、まず興味を持たせることから始めています。できるだけリアリティーをもって、自分があたかもその場で見ていたかのように伝えられたらと思っています。

◇大学で日本史の面白さにはまる

もともと歴史は好きでした。大河ドラマ『独眼竜政宗』が面白くて強烈な印象が残っています。でも、初めから日本史の教員になろうとしていたわけではありません。漠然と教員免許を取れさえすればいいかなと大学は法学部に進学したくらいです。ところが一般教養で選択した「日本史」の授業がとても面白かったのです。今まで学校で学んだ歴史は単純に歴史用語の羅列でしかなかったのですが、この授業では背景と後の世に与えた影響がセットで説明され、ストーリーとして成り立っていました。学生たちが嫌う、夕方遅くの授業であったにもかかわらず、私は２年連続して同じ授業を聞きました。それほど私には面白かったのです。

◇本物に触れる旅

大学４年の教員採用試験が終わった後、お金はないけど時間なら余るほどあるということで旅に出ました。小樽から舞鶴までフェリーに乗って、それ以降はヒッチハイクと野宿でした。関西、四国、中国、九州とまわり種子島まで行きました。長距離の移動はヒッチハイクでしたが、その地域を回る際はできるだけ歩きました。車で移動してしまうと距離感がわからないからです。どれほどの大きさなのか、どれほど離れているのか、身体で実感することが大事だと思います。例えば飛鳥とか鎌倉は意外と狭いとか、日本のお城は山城が多いのですが、ロープウェーに頼らず実際に歩いてみることで、なぜここに城を作ったのかわかってきます。

今はネットやバーチャルで調べたり、模擬体験することはできますが、それはあくまでわかった気になっているだけです。本物には到底かないません。

私が種子島に行ったのは、旅で知り合った他の人たちがみんな屋久島に行くと言うので、「じゃ、自分は種子島に行く！」と言って行ったのですが、行ってみたら鉄砲記念館とロケット発射場と砂浜しかなかった（笑）。砂浜でテントを張ろうとしたら「不審船や不審人物を見かけたら即通報するように」という看板があって、怖いなあと思いながら野宿するわけです。こちらはびびってますからなかなか眠れません。すると真夜中にものすごい光で海の方から照らされました。「まさか、どこかの国に拉致されるんじゃないか」とか思って慌ててテントの外に出てみると、砂浜の湾内でイカ釣り漁船が何艘も出ていただけだったんです。ビックリしましたが、このイカ釣りの光の強烈さも体験しないとわかりませんよね。

何事も本物に触れることが大切なのです！

インタビュー きらり

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

全道高校図書研究大会で、前座・司会・インタビューと運営全てを仕切った図書局

局長　2-3 小松陽花 さん　と局員たち

高文連全道図書研究大会でT-1（図書館活動グランプリ）で運営の全てを仕切った図書局の面々。まずは前座（オープニング）として登場し、ミルクボーイの鉄板ネタを下敷きにした図書バージョンを披露。「先生に頼まれて本をさがしてるんだけど～、分厚くて」「六法全書やないか」で始まり、『ハリーポッター』を経由して『かいけつゾロリ』で終わるという、六法全書以外は読書好きなら一度は通る本。寸劇調に仕立て上げられており、局員たちの創意工夫が光りました。昨年の大会では発表に出られなかった２年の尾見さんは「昨年からずっとやりたいと思っていました。満を持して今回はみんなで頑張りました」と話してくれました。司会担当の小松さんと髙橋さんは二人とも「緊張しました」というものの実に堂々としたものでした。髙橋さんは「急な変更など臨機応変に対応しなくてはいけなくて大変でした。とにかく間違えないようにと思っていました」と話し、小松さんも「予想していたよりとても大きなホールで、練習より大きく声を張らなくてはならなかったりして大変でした」と振り返ってくれました。ステージに立った感想を聞くと髙橋さんから一言「もういいです」（笑）。

インタビューは各校の発表の後、すぐ質問事項を考えてインタビューするというなかなかレベルの高い作業。２年の山形さんは「相手に聞き取りやすいようにと、事前に放送局に指導してもらいました」と明かしてくれました。当日は発表を舞台袖で聞いて、みんなですぐに相談してインタビューしたそうです。「大変だったのでは？」と振ると、山形さん「みんなのポテンシャルが高いので」と即答。この切り返し、見事でした！

さて、同じく開催された「第２回ほっかいどう高校生POPフェスタ」では、１年の石原里菜さんが見事入賞し全国大会に出品が決まりました。彼女が紹介した本は『夏の終わりに君が死ねば完璧だったから』。夏をイメージさせる砂浜と金がちりばめられた絵をバックに紹介文がまた読みたくさせる文でした。「秘密を知った彼らが選ぶ『正解』とは一体？」。なるほど、これは読んで正解を知りたくなってきます。入賞の感想を尋ねると「みんなにどちらがいいかアドバイスをもらって完成させたので、みんなのお陰です」と話してくれました。全国大会にはオンラインで参加予定だそうです。

最後に小松局長から全校生徒へのメッセージ。「ぜひ図書館報『Library』を読んでください。図書室に勉強しに来てください。そして、今、『村上春樹 VS 東野圭吾』コーナーを展示中です。どっちがいいか投票してください！」。

１年の局員が、入局した理由を「雰囲気がいいから」と言っていたとおり、笑いが絶えない和やかなインタビューでした。皆さんも、明るく楽しい図書室へぜひ足を運んでください。